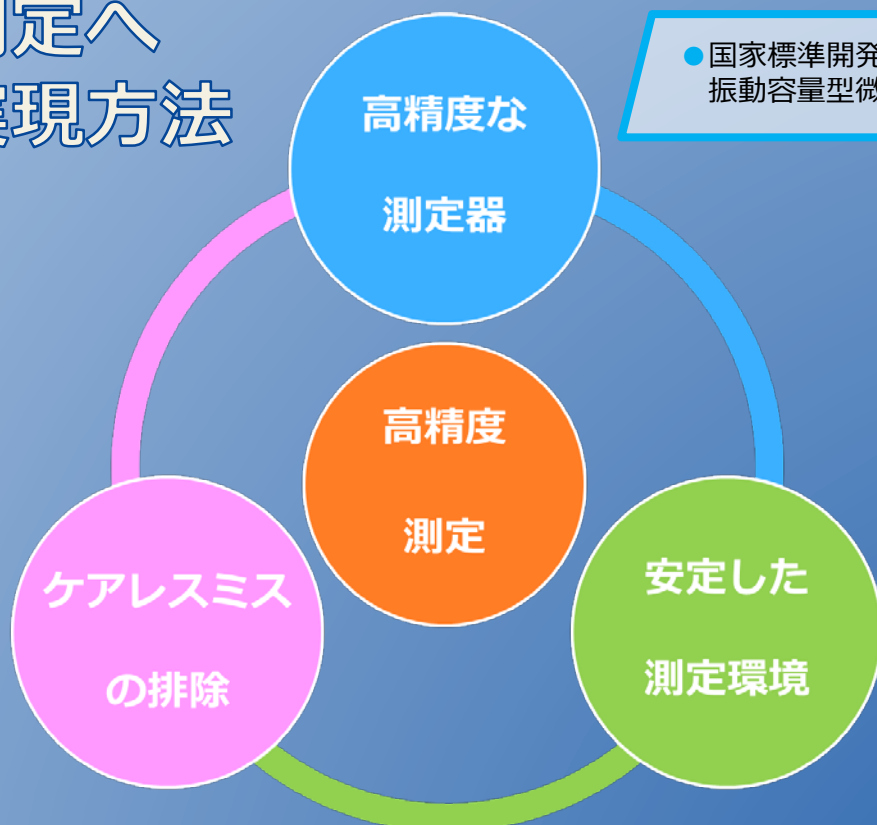


Reference Dosimeter **RDM1**

医療機器校正用 高精度電位計



高精度測定へ 3つの実現方法



- 国家標準開発に採用された振動容量型微小電荷計技術を利用。

- 電荷測定に特化し間違いやすい変換係数設定を排除します。
- 測定値はダイレクトにMicrosoft Excel® に取込み、転記ミスを排除します。

- 室内常設と遠隔操作により
- 人体からの誘導ノイズ
- ケーブルの曲げやねじれの影響を低減します。

主な特長と仕様

● Usability

- ▶ 本体は操作室内に常設し、無線（Bluetooth）でパソコンと接続します。
 - 電源、電離箱ケーブルを都度、接続する必要がなく簡便になります。
 - パソコンですべての計測操作が可能です。
- ▶ シンプルな操作ソフトウェア
 - Microsoft Excel® のアドインメニューから操作ができます。
 - 測定結果は、そのままExcelの指定セルに入力されます。
 - 測定器をイメージした操作メニューは直観的に操作ができます。
 - 使いやすい日本語メニューです。
- ▶ 日本製
 - 日本製ならではの、利用者のニーズに応じたサービスの提供が可能です。



シンプルな操作メニュー

● Accuracy

- ▶ 国家標準開発に採用された振動容量型微小電荷計技術を利用。
- ▶ 操作を全てパソコンで行う事により人体の誘導ノイズ等による外乱影響を低減します。
- ▶ 本体を常設し電離箱ケーブルやコネクタを固定できるのでケーブルの曲げ、ねじれ等の影響を低減します。

※国家標準における役割

国立研究開発法人 産業技術総合研究所様に、高精度放射線測定を目的として開発・製造した電位計（ILK0メータMMA II -17E）は、日本における国家標準開発のための計測器の一部として使われています。その技術をベースに本計測器を開発しております。

※振動容量型

測定する電位信号を、静電容量が一定の周期で変化するコンデンサ（振動容量型）を用い、交流信号に変換することで、ノイズを小さくした増幅が可能となります。増幅した信号を再び直流信号に変換して測定値を出力します。

また、このコンデンサは空気絶縁されているので入力インピーダンスが $10^{15}\Omega$ 以上となり、ノイズに強く、分解能を小さくできるというメリットがあります。

● Spec

- ◆ 測定レンジ : Lレンジ 表示 0.001nC ~ 30.00nC
: Mレンジ 表示 0.001nC ~ 300.0nC
- ◆ 分解能 : 表示分解能 1pC
- ◆ 精度（再現性） : 最小有効指示値に対して0.1%以内 IEC60731 準拠
- ◆ 直線性 : フルスケールに対して0.1%以内 IEC60731 準拠
- ◆ オフセット電流 : Lレンジ 10E-15 (A) 以下
: Mレンジ 100E-15 (A) 以下
- ◆ 長期安定性 : ±0.2%/年 (目標値) IEC60731 準拠
- ◆ 印加電圧 : ±500V 50Vステップ
- ◆ インターフェース : Bluetooth、USB
- ◆ 電源 : AC100V ±10%
- ◆ サイズ : 約W125×H260×D260 (mm)
- ◆ 重量 : 約5.2 (kg)

※仕様は予告なく変更される場合があります。

※PC画面はすべて開発中のものです。

※Microsoftおよび Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

2016年11月現在